無料学習プリント 【すたべんドリル】 https://startoo.co/sutapen.



新出漢字の学習が終了しました

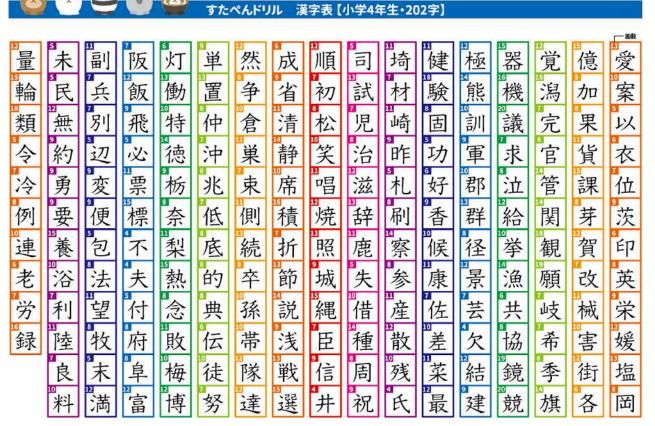
3クラスとも漢字ドリルの新出漢字の学習が終了しました。

とはいっても、今の状態は、3年生で習う漢字の形だけを覚えた状態で、おそらく、突然初めての漢字プリントをやったら、半分も解けない子も多くいると思います。

このままでは使いこなせる段階とは言えないので、今後新しい熟語を用いた漢字の反復練習に取り組みながら、4Qまででしっかりと3年生の漢字を書ける状態を目指します。

2、3年生の漢字は、漢字の基本となる部分を多く含んでいるので、完璧に身に付けることで、今後の漢字習得が容易になります。

4年生の漢字学習は、覚える数は3年生とほぼ同じですが、学習指導要領の改訂で都道府県の 漢字が全て4年生に下りてきたので、画数が多い字、見慣れない字が多く、苦労する子が多いで す。



画数が多くなっても、基本が身についていれば、覚えるのに大きな苦労はしないので、まずは 3年生の漢字をどの熟語でも書けることを目指していきましょう。

日本地図で都道府県の名前を見たことがないと、全く読めないし意味が分からくなってしまうので、日本地図に慣れておくことも大切です。(うちはお風呂に貼っています)

漢字の学習プリントはこちらにアップロードしてあり、今後も随時更新していくので、家庭での学習にお役立てください。 ► 学習プリントなど

また、新出漢字の学習を終えたので、熟語学習だけでなく、文の構造や語彙の習得に関する学習も並行して行っていきます。

文の構造では、2年生までに習った「主語」「述語」に加えて「修飾語」を学習します。 語彙では、「類義語」「反対語」「多義語」「ことわざ」「慣用句」を学びます。

特に、語彙については、普段家庭で使う言葉を意識して、少しずつレベルアップしていくことをおすすめします。

積極的に新しい言葉を使い、初めて使う言葉には、「れいせいになってという言葉は、冷たい に静かって書くんだよ」など使われる漢字や意味を教えてあげると、言葉への感性が育ちます。

発達段階的に、ことわざや慣用句を覚えたがる子も多いので、本を用意してあげると、語彙も ぐんと広がります。

「手がかかる」「顔が広い」「頭が切れる」といった慣用句、「犬も歩けば棒に当たる」「猿も木から落ちる」などのことわざは、子どもにとって知った言葉が出てくるのでとりかかりやすいです。

「親しき中にも礼儀あり」「塵も積もれば山となる」「早起きは三文の徳」など、生活の中で使 えそうなことわざを使うこともとても有効です。



上と右の写真は、国語の教科書のことわざの ページです。

これを見ると、ことわざを覚えたり、意味を 知ったりするというよりも、言葉への関心を広 げることを目標にしているように思います。



子どもたちは、生活していく中で他者から与えられた様々な言葉を吸収していきます。 時にはきつい言葉や乱暴な言葉を覚えてしまうこともありますが、それと同様に、周りの人たちが与えれば、きっと優しい言葉や美しい言葉を覚えていくはずです。

学校でも計画的、継続的に学習していきますので、ぜひご家庭でもお取り組み下さい。